

## 不正リスクに対する当社グループの対応方針

東芝 IT サービス株式会社における架空・循環取引（以下「本件事案」といいます。）の発生を受けて、当社グループ全体の不正リスクに対する再発防止策に関する質問が寄せられておりますので、以下のとおりご説明いたします。

### 1. 当社グループ各社の実態把握等を通じたガバナンスの強化

1) 当社では、グループ各社におけるコンプライアンス等リスクへの取り組みの実態把握と改善を促すため、2019年4月から、グループ各社ごとのリスク評価を一元的に把握できるよう、コーポレート主導でのPDCA\*を組み込んだリスクマネジメントシステム（RMS）を独自に開発して、運用を開始しました。更に、本件事案を踏まえて、2020年度よりグループ各社への不正防止に対する働き掛けを強めるため、不正リスクシナリオを体系的に整理・精緻化したうえで、グループ各社の不正リスクへの取り組みに対する実態把握と改善の指導を強化してまいります。

\* *Plan*: リスクの特定・評価、*Do*: ルールの作成・運用、*Check*: 振返り・実態調査、  
*Action*: 改善計画の策定・実行

2) 東芝 Next プランにおいて子会社数の25%削減を目標としていますが、グループ会社のガバナンス強化のために、この推進を継続してまいります。

3) 将来的には、現在進めている次期基幹システムの導入により、直接システムからグループ各社の取引データを取り出して分析し、リスク管理部門や監査部門へレポートするなど、機動的な調査等を実施できる環境を整備します。

### 2. 各グループ会社の事業内容や他社不祥事等を踏まえた不正リスク項目洗い出し

「1. 当社グループ各社の実態把握等を通じたガバナンスの強化」にあるとおり、2020年度より、従来のRMSに十分組み込めなかった不正リスクマネジメントへの取り組みを開始します。具体的には、外部専門家を活用して不正リスクシナリオを他社における不正事案等を参考に体系的に整理したうえで、事業領域を所管する分社会社の他、監査部門

及び会計監査人と連携し、事業特性も踏まえた不正リスク項目の精緻な洗い出しを行い、グループ各社における不正リスクへの取り組みに対する実態把握と改善の指導に活用してまいります。

なお、東芝 IT サービス株式会社が属している東芝デジタルソリューションズ株式会社(以下「TDSL」といいます。)グループにおいて実行している再発防止策は以下の通りです。

- ・原則として TDSL グループによる役務、サービス提供等の付加価値を伴わない自社製品以外の直送取引を行わない
- ・更なる業務プロセスの改善や内部統制の強化に向けて、販売先に提示する見積書及び作業完了報告書の確認や物販・役務に関する社内規程の整備・運用、監視・監督体制の実効性強化、内部通報制度の周知再徹底
- ・社内審査会議の充実や牽制機能の強化、業務属人化防止のための人材ローテーション、従業員教育の継続、強化、社内評価制度の見直し

以 上